



平成26年10月24日

各位

上場会社名 日本製罐株式会社
 代表者 代表取締役社長 城座 隆夫
 (コード番号 5905)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 井上 淳嗣
 (TEL 048-665-1257)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年4月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,700	△20	1	1	0.09
今回修正予想(B)	2,905	48	73	71	6.23
増減額(B-A)	205	68	72	70	
増減率(%)	7.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	2,709	△71	△28	△24	△2.12

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,760	0	40	45	3.89
今回修正予想(B)	5,800	48	93	96	8.32
増減額(B-A)	40	48	53	51	
増減率(%)	0.7	—	132.5	113.3	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	5,621	△36	76	76	6.63

修正の理由

(売上高・営業利益・経常利益・当期純利益)

売上高では、美術缶において当初見込んでいた消費税後の反動の影響が少なかったこと等により前年比7.2%増加となり、予想より7.6%増加する見込みとなりました。

損益面では、売上高が予想を上回ったことに加え、需要に見合った生産体制の確立による製造原価の圧縮、経費の削減を行ったこと等により、営業利益、経常利益、当期利益とも予想を上回る見込みとなりました。

なお、平成27年3月期通期の業績については、国内産業の活動水準の低下による産業用容器の需要減等 厳しい需要動向にあることから、売上は、当初の予定に対し0.7%の微増といたしました。

損益については、上期予想を上回った分が寄与し、営業利益、経常利益、当期利益ともに予想を上回る見込みといたしました。

※ 上記業績予想につきましては、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以上